

第102期事業報告書

株主の皆様へ



平素は格別のご支援を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

第102期(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)の事業報告書をお届けするにあたり、連結および単体を含め、会社の近況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、長引くデフレ不況、高い失業率、金融不安など閉塞感に包まれ低迷を続け、一方で政府は前年より引き続き構造改革、財政再建の実現に取り組んできたものの、回復の兆しは見られないまま推移いたしました。

道路業界におきましては、公共投資の大幅な削減と民間設備投資の低迷により、建設投資が16年ぶりに60兆円を下回るとい見通しの中、受注環境はかつてない厳しいものとなりました。

このような環境の中で、当社は、全社を挙げて舗装・土木工事の受注確保、製品販売の拡大並びに建築工事・不動産開発の強化等に努めるとともに、コスト削減による一層の収益力向上に注力いたしました。また、将来に向けた事業分野の拡大のため、大日本土木株式会社への資本参加、土壌浄化事業への進出等にも取り組んでまいりました。

その結果を連結ベースで申し上げますと、当期の売上高は2,957億円、経常利益は80億円、当期純利益は27億円となりました。

今後を展望いたしますと、構造改革の過程における調整期として、不良債権処理の加速等に伴う不安定な経済情勢、失業率の上昇、個人消費の低迷、民間設備投資の減少等が予想され、景気の先行きは極めて厳しいものと思われます。

道路業界におきましても、公共投資および公共工事のコストが更に削減される見通しであり、また、民間設備投資も引き続き減少傾向にあることから、これまで以上に厳しい受注環境になると予想されます。

このようなかつてない厳しい経営環境下にあっても、当社は、企業行動規範に基づいたコンプライアンス重視の企業活動を基本として、社会に貢献する企業を志向するとともに、技術と経営に優れた企業として生き残るため、技術力の向上、営業力の強化に努めるとともに、コストダウンを確実に進め、競争力の強化に取り組んでまいり所存でございます。

また、当社は、平成16年2月に会社設立70周年を迎えるにあたり、本年10月1日に、商号を「株式会社NIPPOコーポレーション」といたします。設立以来、これまで築き上げてきました舗装・土木工事および製品販売を事業の中核としながら、建築工事・不動産開発・環境事業、また、本年10月1日に新日石エンジニアリングから承継する工事部門とエンジニアリング部門を合わせ、さらなる会社発展のために、いっそうの努力を重ねてまいり所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格段のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

日本舗道株式会社

代表取締役社長 仁瓶義夫

遮熱排水性舗装

クールパーピアス

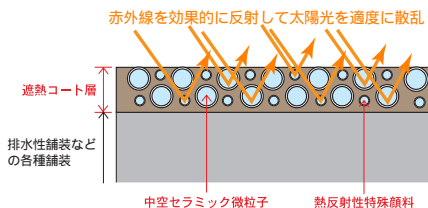


灰色

濃灰色

クールパーピアスは、東京都の「散水が必要としない舗装路面温度の上昇を抑制する新技術」に応募して採用されたもので、新しいヒートアイランド抑制舗装として期待されている技術です。

温度抑制機能のメカニズム



特長

路面温度が低減します

夏季の道路環境が改善します

舗装の耐久性が向上します

視認性や景観性が向上します

施工の流れ

(下地舗装の舗設)

トップコートの一次塗布

すべり止め骨材の散布

トップコートの二次塗布

交通解放



①1層目吹付け
および白色骨材散布



②2層目吹付け

路上再々生路盤工法

スーパーFRB工法

(Super Field Recycling Base)

スーパーFRB工法とは...

破損した固結再生路盤をもう一度路上で再生する路上再々生路盤工法です。従来の機械では困難だった強固な再生路盤の破碎・混合が、新開発の高性能スタビライザ『ロードリサイクラ』で効率よく行うことができます。スーパーFRB工法は、再生路盤だけでなく、水硬性鉄鋼スラグ路盤やセメント安定処理路盤の再生にも適用できます。



ロードリサイクラ

セメント安定処理
路盤破碎状況



特長

環境保全

既設舗装材のリサイクル利用

工期短縮

既設舗装の掘削、入れ換え不要
スムーズな固結路盤の破碎・混合

コスト縮減

新規舗装材は不要
予備破碎が不要

汎用性

FRB用添加材料全てに対応可

ロードリサイクラの特長

抜群の破碎性能

ハイブリッド瀝青材散布装置

サイドシフト機能

コンパクトな車体

安全作業

切削溝でドライバーへ警告

ランブルストリップス

うっかり、ぼんやり、居眠りなどによる交通事故を、
振動と“ゴロゴロ”音で未然に防止します

ランブルストリップ は、舗装路面の表面に一定の間隔で凹型の切削溝を付けることにより、運転者に音と振動により注意を喚起する工法です。

北海道の死亡交通事故は、正面衝突事故、路外逸脱事故によるものの割合が高く、交通事故防止対策が急がれています。アメリカでは、逸脱事故防止対策としてのランブルストリップ工法の高い費用対効果が報告されています。

本工法は、独立行政法人北海道開発土木研究所が研究していたもので、当社は施工法・施工機械の協力を行い、共同で実用化したものです。

なお、本工法は室蘭工業大学、北海道開発局、北海道警察とも合同で検討の上、平成14年度から実路で施工され、高い評価を頂いています。

特長

切削型なので、除雪作業で壊される心配がありません

既設路面に簡単に設置できます

車道中央線、路肩どちらにも設置できます

単調な郊外の道路、高速道路、山岳路に最適です



一般国道5号 八雲町



車道中央線での適用例



路肩での適用例

完成工事ハイライト



● 東北中央自動車道山形南
舗装工事
【山形県】



● 東京競馬場
馬場改造工事
【東京都】

● 援護寮・福祉ホーム
新築工事
【北海道】

